



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 31 日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR室長

上場取引所 東証一部・大証一部
 URL <http://www.takara.co.jp>
 (氏名) 大宮 久
 (氏名) 松崎 修一郎 TEL (075) 241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	148,791	△3.9	9,440	6.1	9,612	6.8	5,210	14.1
19年3月期第3四半期	154,819	2.2	8,897	12.6	9,003	12.2	4,567	△31.2
19年3月期	198,535	—	7,660	—	7,846	—	4,208	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	24.08	24.07
19年3月期第3四半期	21.10	—
19年3月期	19.44	19.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	219,324	116,242	46.9	475.81
19年3月期第3四半期	220,712	114,873	46.3	472.18
19年3月期	213,393	115,570	48.0	473.61

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	398	△1,501	3,450	31,927
19年3月期第3四半期	2,975	△5,669	1,407	24,530
19年3月期	12,782	△7,526	△1,558	29,601

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日）

平成 19 年 11 月 14 日に発表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年 11 月 14 日に発表いたしました連結業績予想の見直しは行っておりません。業績予想に関する定性的な事項は、4 ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また業績予想に関する事項（業績予想の見直しを行わなかった理由を含む）は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年4月1日～平成19年12月31日まで）の連結売上高は、前連結会計年度下半期より連結の範囲に含めました長崎運送株式会社の上半期分売上がプラスされましたが、宝酒造株式会社の飲料事業撤退の影響や飲用甲類焼酎の納価改定に伴う上半期の売上高の減少により148,791百万円（前年同期比96.1%）となりました。また、ソフトアルコール飲料の好調やバイオセグメントの営業黒字化もあり、売上高の減少にもかかわらず連結営業利益は9,440百万円（前年同期比106.1%）、連結経常利益は9,612百万円（前年同期比106.8%）とともに増益となりました。連結四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益や連結子会社である Clontech Laboratories, Inc. の係争和解費用などがありましたが前年同期比114.1%の5,210百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績概要は以下のとおりです。

【酒類・調味料セグメント】

酒類・調味料セグメントにおいては、全量芋焼酎「一刻者（いっこもん）」を中心とする高付加価値焼酎の育成、中食市場の更なる開拓などに取り組んでおります。

焼酎カテゴリーでは、「一刻者」を中心とする本格焼酎や甲乙混和焼酎は好調に推移したものの、「純」「JAPAN」などのニュータイプ焼酎は引き続き減少傾向にあります。加えて飲用甲類焼酎が実質納価の改定に伴い一時的に減少いたしましたので焼酎全体の連結売上高は前年同期比93.9%の57,259百万円となりました。

ソフトアルコール飲料カテゴリーでは、昨年3月に新発売いたしました「直搾り」が順調に推移するとともに、ドライな味わいの「焼酎ハイボール」やロングセラー商品の「タカラ can チューハイ<レモン>」などが好調で、ソフトアルコール飲料全体では前年同期比104.7%の15,485百万円となりました。

清酒カテゴリーでは、国内の清酒市場全体が長期に低迷するなか、戦略商品であるソフトパック“松竹梅「天」”が好調に推移しましたが、主力の松竹梅1.8L 壺の減少が響き、前年同期比96.8%の19,642百万円となりました。

調味料カテゴリーでは、中食市場の開拓を進め料理清酒などの酒類調味料が好調に推移いたしました結果、前年同期比103.1%の17,516百万円となりました。

原料用アルコール等につきましては、前年同期は、販売自由化を見越した積極的な営業により大幅な増収となっておりましたが、他社の反攻、価格競争の激化により、前年同期比77.2%の3,443百万円となりました。

その他カテゴリーでは、昨年まで当セグメントに含めておりました物流事業を独立したセグメントといたしましたのでその売上高は大きく減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの外部売上高は、飲料事業撤退による減収6,627百万円も含め123,255百万円、セグメント売上高は123,964百万円となり、前年同期の酒類・食品セグメント（物流事業含む）と比べ大幅に減少いたしました。営業利益は、売上の減少や、原材料高騰の影響がありましたが、納価改定や飲料事業撤退に伴う販売促進費などの販売費及び一般管理費の減少がありましたので9,136百万円となりました。

【バイオセグメント】

バイオテクノロジーの研究開発活動を支援する製品やサービスを提供する遺伝子工学研究分野では、新製品・新技術開発競争の激化等の厳しい状況が続いているなか、主力製品である研究用試薬の売上は増加しましたものの、理化学機器の売上が大きく減少しましたので、当分野の外部売上高は前年同期を下回りました。また、遺伝子医療分野につきましてはロイヤルティの増加もあり増収となりました。医食品バイオ分野におきましてはキノコ関連製品が増収となりましたが、グループ内の事業再編により平成18年10月以降、健康志向食品の販売をバイオセグメントからその他セグメントへ移管したため、当分野の外部売上高は減少となりました。

以上の結果、当セグメントの外部売上高は前年同期比94.9%の13,793百万円、セグメント売上高は同95.5%の14,202百万円となりました。

営業損益面では、売上総利益率の大幅な改善や、販売費及び一般管理費の削減により、当セグメントの営業利益は448百万円（前年同期は415百万円の損失）となりました。

【物流セグメント】

前連結会計年度下期より連結の範囲に加えた長崎運送株式会社が通年寄与することとなり、物流セグメントの連結売上高の重要性が高まったため、当連結会計年度より物流セグメントとして区分いたしました。当セグメントの外部売上高は、6,544百万円、セグメント売上高は12,725百万円となり、営業利益は345百万円となりました。

【その他セグメント】

その他セグメントの外部売上高は印刷事業が1,711百万円、新設した宝ヘルスケア株式会社が営む機能性食品事業が2,575百万円など合計で前年同期比163.3%の5,197百万円、セグメント売上高は同125.6%の9,838百万円となりました。また営業利益は、機能性食品事業で営業損失となったため前年同期比11.9%の56百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は前年同期より1,387百万円減少し219,324百万円となりました。社債の発行による調達資金の有価証券(譲渡性預金等)での短期運用など増加要因もありましたが、サブプライムローン問題に端を発した株式市場の低迷に伴う投資有価証券の時価評価差額の減少が主な理由であります。

負債は、社債の発行がありましたもののコマーシャル・ペーパーの償還や未払費用の減少及び時価評価差額の減少に伴う繰延税金負債の減少により、前年同期より2,756百万円減少し103,082百万円となりました。

少数株主持分を加えた純資産は、その他有価証券評価差額金の減少があったものの利益剰余金の増加により116,242百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は46.9%となりました。

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益9,173百万円、減価償却費4,041百万円などの収入要因、売上の季節性による売上債権の増加11,111百万円、法人税等の支払額3,706百万円などの支出要因により398百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得による支出3,145百万円、投資有価証券の売却による収入1,254百万円、投資有価証券の償還による収入1,000百万円などにより1,501百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行・償還による収入超過4,923百万円、配当金の支払による支出1,622百万円などにより3,450百万円の収入となりました。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物期末残高は31,927百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,325百万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期までの売上高及び営業利益等の進捗は概ね計画通りであります。なお、第4四半期において、タカラバイオ株式会社の持分法適用関連会社であるViroMed Co., Ltd. (KOSDAQ 上場)の株式の売却益416百万円(概算)の発生が見込まれますが、平成19年11月14日に公表いたしました通期業績予想の見直しは行っておりません。

また、この売却により当社グループの所有する同社株式数はゼロになりましたので、同社を持分法適用の範囲から除くことといたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の税金費用の計上については簡便的な方法によっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当連結会計年度より事業区分の方法を変更しております。詳細は9ページ「事業の種類別セグメント情報」をご覧ください。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	18,612	20,655			22,778
2. 受取手形及び売掛金	65,189	62,366			51,274
3. 有価証券	6,625	14,169			6,690
4. たな卸資産	25,202	24,843			25,436
5. その他	4,834	4,658			6,643
貸倒引当金	△165	△148			△156
流動資産合計	120,299	126,544	6,245	5.2	112,666
II 固定資産					
1. 有形固定資産	50,393	48,249			49,544
2. 無形固定資産	6,302	6,704			6,908
3. 投資その他の資産	43,716	37,826			44,273
固定資産合計	100,412	92,780	△7,632	△7.6	100,726
資産合計	220,712	219,324	△1,387	△0.6	213,393
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	15,280	16,111			13,558
2. 短期借入金	4,905	4,962			4,903
3. 1年以内に償還予定の社債	5,000	5,000			5,000
4. コマーシャル・ペーパー	2,996	—			—
5. 未払酒税	13,553	13,047			10,288
6. 未払費用	6,551	4,558			7,354
7. 賞与引当金	1,074	1,018			2,017
8. 役員賞与引当金	—	24			33
9. 販売促進引当金	1,765	1,775			1,366
10. その他	8,350	8,203			7,654
流動負債合計	59,477	54,701	△4,776	△8.0	52,176

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
II 固定負債					
1. 社債	15,000	20,000			15,000
2. 長期借入金	5,770	5,755			5,739
3. 退職給付引当金	8,810	8,907			8,690
4. 預り金	7,437	6,774			7,043
5. その他	9,342	6,943			9,173
固定負債合計	46,360	48,380	2,019	4.4	45,646
負債合計	105,838	103,082	△2,756	△2.6	97,823
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	13,226	13,226			13,226
2. 資本剰余金	3,205	3,204			3,205
3. 利益剰余金	74,667	77,894			74,308
4. 自己株式	△960	△1,007			△972
株主資本合計	90,138	93,318	3,179	3.5	89,767
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	11,367	8,879			11,644
2. 繰延ヘッジ損益	△2	△7			5
3. 為替換算調整勘定	702	772			1,090
評価・換算差額等合計	12,068	9,644	△2,423	△20.1	12,740
III 少数株主持分	12,666	13,279	612	4.8	13,062
純資産合計	114,873	116,242	1,369	1.2	115,570
負債、純資産合計	220,712	219,324	△1,387	△0.6	213,393

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	154,819	148,791	△6,027	△3.9	198,535
II 売上原価	94,477	90,727	△3,750		122,325
売上総利益	60,341	58,064	△2,276		76,210
III 販売費及び一般管理費	51,444	48,624	△2,819		68,550
営業利益	8,897	9,440	542	6.1	7,660
IV 営業外収益	807	999	191		1,186
V 営業外費用	701	827	126		1,000
経常利益	9,003	9,612	608	6.8	7,846
VI 特別利益	969	1,096	127		1,622
VII 特別損失	1,412	1,535	122		1,807
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,560	9,173	612		7,660
税金費用	4,084	3,845	△239		3,322
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△90	117	208		129
四半期(当期)純利益	4,567	5,210	643	14.1	4,208

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期	当四半期	(参考)
	(平成19年3月期 第3四半期)	(平成20年3月期 第3四半期)	前連結会計年度 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,560	9,173	7,660
減価償却費	4,256	4,041	5,710
売上債権の増減額(増加：△)	△12,653	△11,111	1,333
たな卸資産の増減額(増加：△)	263	545	245
仕入債務の増減額(減少：△)	△992	2,555	△2,751
未払酒税の増減額(減少：△)	4,698	2,758	1,433
その他流動負債の増減額(減少：△)	980	△2,875	1,877
その他	901	△1,231	674
小計	6,015	3,855	16,182
法人税等の支払額	△3,070	△3,706	△3,362
その他	30	249	△37
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,975	398	12,782
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出	△2,275	△3,145	△3,960
投資有価証券の取得による支出	△3,553	△533	△3,988
投資有価証券の売却による収入	632	1,254	635
投資有価証券の償還による収入	—	1,000	—
関係会社株式・出資金の売却による収入	296	861	554
その他	△769	△938	△766
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,669	△1,501	△7,526
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
社債の発行による収入	—	9,923	—
社債の償還による支出	—	△5,000	—
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	3,000	5,000	6,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	△5,000	△6,000
配当金の支払額	△1,948	△1,622	△1,949
その他	355	150	391
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,407	3,450	△1,558
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△22	137
V 現金及び現金同等物の増減額(減少額：△)	△1,236	2,325	3,835
VI 現金及び現金同等物の期首残高	25,701	29,601	25,701
VII 新規連結による現金及び現金同等物の増加額	64	—	64
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	24,530	31,927	29,601

(4) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	137,382	14,870	7,834	160,087	(5,268)	154,819
営業費用	127,925	15,285	7,363	150,574	(4,653)	145,921
営業利益又は営業損失(△)	9,456	△415	471	9,512	(614)	8,897

当第3四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	酒類・調味料	バイオ	物流	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	123,964	14,202	12,725	9,838	160,731	(11,939)	148,791
営業費用	114,827	13,754	12,379	9,782	150,743	(11,391)	139,351
営業利益	9,136	448	345	56	9,987	(547)	9,440

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	酒類・食品	バイオ	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	174,143	20,982	11,148	206,274	(7,738)	198,535
営業費用	165,986	21,187	10,663	197,836	(6,961)	190,875
営業利益又は営業損失(△)	8,157	△205	485	8,437	(777)	7,660

(注)①事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・調味料、バイオ、物流及びその他の4事業に区分しております。

②各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・調味料	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール
バイオ	試薬(遺伝子工学用、蛋白質工学用、細胞工学用、糖生物学用)、理化学機器、研究受託サービス、医療機器、キノコ、しめじ生産技術指導、明日葉、寒天、バイオ医食品
物流	貨物運送業、倉庫業、流通加工業
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸、機能性食品

③営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の当第3四半期の金額は722百万円であり、これは持株会社である連結財務諸表提出会社で発生したものであります。

前第3四半期及び前連結会計年度のその金額は、それぞれ737百万円及び978百万円であります。

④事業区分の方法の変更

当期より、従来「酒類・食品」セグメントに含めておりました「物流事業」をその金額の重要性が増したため独立セグメントといたしました。これは前連結会計年度に新たに連結範囲に加えた長崎運送株式会社が通年寄与することとなったためであります。また飲料事業撤退に伴い、「酒類・食品」セグメントを「酒類・調味料」と名称変更いたしました。

なお、前第3四半期及び前連結会計年度のセグメント情報を、当第3四半期において用いた事業区分の方法により区分すると次のとおりであります。

前第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	酒類・食品	バイオ	物流	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	133,400	14,870	10,655	7,834	166,761	(11,942)	154,819
営業費用	124,352	15,285	10,260	7,363	157,262	(11,341)	145,921
営業利益又は営業損失(△)	9,047	△415	394	471	9,498	(601)	8,897

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	酒類・食品	バイオ	物流	その他	計	消去又は全社	連結
売上高	168,040	20,982	14,415	11,148	214,586	(16,050)	198,535
営業費用	160,342	21,187	13,960	10,663	206,154	(15,278)	190,875
営業利益又は営業損失(△)	7,697	△205	455	485	8,432	(772)	7,660

2. 所在地別セグメント情報

前第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)、当第3四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)及び前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が、いずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

3. 海外売上高

前第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)、当第3四半期(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)及び前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載は省略しております。

(5) 販売の状況

販売実績

当第3四半期における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
酒類・調味料 (前期:酒類・食品)			
焼酎	60,969	57,259	93.9
ソフトアルコール飲料	14,797	15,485	104.7
清酒	20,292	19,642	96.8
その他酒類	8,001	8,806	110.1
酒類計	104,060	101,192	97.2
本みりん	12,966	13,044	100.6
その他調味料	4,025	4,471	111.1
調味料計	16,991	17,516	103.1
飲料	6,627	—	—
原料用アルコール等	4,458	3,443	77.2
その他	4,955	1,103	22.3
計	137,095	123,255	89.9
バイオ	14,542	13,793	94.9
物流	—	6,544	—
その他	3,181	5,197	163.3
合計	154,819	148,791	96.1

(注) 1. セグメント間の内部売上高は除いて記載しております。

2. 金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。